

カナダに来て2カ月が経ちました。今月は様々な行事に参加しました。

10/7は先月の報告書に書いた通り、学校オリジナルの行事である Trish's wish Day 通称 Pink day でした。ピンクの格好をし、学校の周りおおよそ2 km を有志で走る Trish Run にも参加し、気温7度の中寒さで息苦しくなりながらも走りきりました。Pink Day は見渡す限りすべての生徒が全身ピンクで楽しく参加をされていて、全体での一体感を感じられ、Trish やがんについて考えることのできる良い行事でした。

またハロウィンの前週である10/24から10/28は Spooky Week と呼ばれ、毎日何かしら、服装や持ち物のテーマが定められている週でした。パジャマなどの楽な服装をする Comfy Cozy Day、友達と同じ服装をする Match Day、レトロな格好をする Retro Day、ハロウィンにちなんで黒とオレンジを着る Orange and Black Day などでした。特に印象深かったのがリュックなどカバン以外のもので登校をする Anything but bag pack Day です。バケツ、買い物かご、コーンフレークの箱などから農家の人が使う大きな手押し車、三角コーンまでそれぞれの発想や独創性のあふれる面白い日でした。もちろん10/31はハロウィンの仮装をして登校する日で、私も悪魔の角を生やして登校をしました。その日の夜には同じ次世代生である友達のホストファミリーの Trick or Treating に参加させてもらい近所を周ってお菓子をもらいました。友達のステイしている地域は畑や牧場などが多く、一軒一軒が離れているので車に乗って周る私にとって初めてのスタイルの Trick or Treating でした。本格的なハロウィンが体験できよい思い出ができました。

日常面では、自分の入っていないちょっとした会話が聞き取れ、理解できるようになったと感じます。私のホストファミリーはみな早口ではじめは集中をして聞いていても本当に何を話しているかわからなかったのですが、つい最近ちょっとした連絡事項の会話や夕食の合間の家族間での会話などが理解できるようになりました。これは自分の中で大きな進歩だと感じていると共に、家族の会話が理解できることで自分もその家族の一員であることが実感できてうれしいです。今後はその会話に自分も参加できるようにより話す力もつけていきたいです。

今月は体調を崩したこともあり、後半はおとなしく過ごしていましたがこれからとうとう雪が降り始め、より寒くなるそうなので気を抜かず無理をせずに寒さ対策に勤しみたいです。